

修士論文（要旨）

2016 年 1 月

都市部におけるシルバー人材センターの退会要因

指導 芳賀博 教授

老年学研究科

老年学専攻

214J6002

岡田友世

Master's Thesis (Abstract)

January 2016

The Causes of Elderly People Leaving Silver Human Resource Centers
in Urban Areas of Japan

Tomoyo Okada

214J6002

Master's Program in Gerontology

Graduate School of Gerontology

J. F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Hiroshi Haga

目次

1. はじめに	1
(1)背景	1
(2)目的	2
2. 方法	3
(1)対象	3
(2)分析に用いたデータベース	3
(3)測定尺度	4
(4)分析	5
(5)倫理的配慮	5
3. 結果	6
(1)分析対象者の基本属性	6
(2)退会の実態及び退会会員の特性	6
(3)退会の要因分析	6
4. 考察	7

文献

図表

1.はじめに

(1)背景

日本は世界に類を見ない超高齢社会に突入し、出生率が減少する一方で 65 歳以上の高齢者人口は増加を続け、高齢化率は年々上昇している 1)。そうした状況の中で、政府は、意欲と能力のある高齢者を支え手として活用する方針を示しており、高齢者の多様なニーズに応える就業機会及び社会参加の場としてシルバー人材センター事業が注目され、事業の拡大が図られている 2)。

シルバー人材センターは、「臨・短・軽」の就業の機会の提供とともに、様々な社会参加を通じて、健康で生きがいのある生活の実現、地域社会の福祉の向上と活性化への貢献を目指す組織である 3)。シルバー人材センターを対象とした先行研究では、健康 4-7)や QOL 7-9)に関連したものが多く、シルバー人材センターでの活動は、健康や QOL に有用であるとの報告がされている。しかし、近年は会員数が減少傾向にあり 10)、事業が停滞している。退会に関して、仕事満足度が低いこと、事務職を希望すること、シルバー人材センター以外での就業日数が多いことで退会しやすいことが明らかになっているが 11)、縦断的に退会の要因を検討したもの、ミスマッチと退会との直接の関連を検討したものはまだない。

(2)目的

本研究では、都市部を対象に、新規登録会員の追跡調査によって、希望職群とのマッチングの有無に焦点を当てて、退会に最も影響する要因を検討することを目的とする。

シルバー人材センターは、多様な就業ニーズに応える場として期待されているが、現在会員数は減少傾向にある。退会の要因を明らかにすることは、今後シルバー人材センターについて考える際の一資料になると考えられる。

2.方法

(1)対象

本研究では、東京都 A 市のシルバー人材センターの 2013 年 1 月 1 日～12 月 31 日の期間に入会した新入会員を対象とし、2014 年 12 月 31 日時点で退会しているか在籍しているかを追跡した。

(2)分析に用いたデータベース

データは、「会員情報データ」、2013 年及び 2014 年の「就業実績データ」を用いた。データベースは、「会員情報データ」「就業実績データ」を、個人単位で接合したものである。

(3)測定尺度

- ・目的変数：シルバー人材センターからの退会の有無
- ・説明変数：希望職群とのマッチングの有無、月あたり就業量、就業率、希望職群、入会動機、センター入会前の職種、性別、年齢

(4)分析

本研究では、以下 3 つの分析を行った。すべての集計・分析には、SPSS22.0 を用いた。

・対象者の基本属性についての記述統計

・退会会員の特性の記述統計及び特性別退会者の割合比較 (χ^2 検定)

・退会の要因分析 (Cox 回帰分析) 有意になった要因は更に記述統計を算出

分析対象者は、2013 年の新入会員 442 名であった。

(5)倫理的配慮

公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団から提供されたデータベースは、東京都 A 市シルバー人材センターとの共同研究協定に基づき作成され、個人情報はずべて除外されている。また、著者のデータベース利用に関しては、データの取扱い、目的外利用の禁止などを定めた文書を締結した。(承認番号 A26003)

3.結果

分析対象者 442 名は、男性 67.4%、女性 32.6%、平均年齢 69.2(± 4.5)歳の集団であり(表 1)、うち退会者は 103 名(23.3%)であった。

在籍月数の分布から、5 か月と 10 か月・11 か月に退会のピークがあり、退会会員の 80%以上が 1 年以内に退会していた(表 3、図 2)。退会した月は 3 月に集中していた(図 3)。退会理由は、その他で就職(32.0%)、病気(本人)(14.6%)の順に多かった(表 4、図 4)。退会会員は、在籍会員に比べて、70 歳未満の会員、希望職群とのマッチングがなかった会員、就業量が少ない会員、就業率 50%未満の会員の比率が高かった(表 5)。

Cox 回帰分析の結果、希望職群とのマッチングが無かった者(ハザード比=1.307、95%CI: 1.044~1.635)、月当たりの就業量が少ない者(ハザード比=1.716、95%CI:1.387~2.122)、就業率の高い者(ハザード比=.417、95%CI: .320 ~ .543)ほど早期に退会する傾向が高かった(表 6)。事務職を希望する会員の方がマッチングのない会員の比率が高く(表 7)、女性の方が就業量が少ない会員の比率が高かった(表 8)。

4.考察

退会の要因として、シルバー人材センターへ「収入を伴う仕事」を求めて入会した会員が早期に退会している可能性が示唆された。正規雇用を希望したができない会員が、次の就職までの「つなぎ」として在籍している可能性がある。生きがい就労の理念とは異なるが、新規会員に対して初めの 1 年は、ある程度の実業量の確保、希望する職業の提供を図ることが求められる。一方で、同時に企業の実業量の促進も必要である。

本研究の限界として、他の活動や健康指標など検討できていない要因があること、地域性の問題が挙げられる。今後は、アンケートやインタビューにより今回検討できなかった要因の検討や質的な検討、町村部のセンターも対象に加えての検討が必要になると考えられる。

文献

- 1) 内閣府, 高齢社会白書, 第 1 章高齢化の状況, 第 2 章高齢社会対策の実施の状況, 2-6, 72-82, 2015
- 2) 内閣府, 「高齢社会対策大綱 (平成 24 年 9 月 7 日閣議決定)」
(<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002tbl1-att/2r9852000002tbqp.pdf>)
(2015/12/22 アクセス)
- 3) 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会編, シルバー人材センター事業 運営の手引き 第 5 版, 2013
- 4) 龍田恵喜二, 働く高齢者が創り出す効果; シルバー人材センターの場合, 帝京法学, 24(1), 67-74, 2005
- 5) 佐藤光子, 武田浩介, 西村民生ほか, 高齢者の生活習慣と体力 - シルバー人材センター会員を対象に, 大阪教育大学, 40(2), 229-240, 1992
- 6) 菊池恵美子, 高齢者の職業的心身機能の特性 - シルバー人材センター登録者の実態から -, 職業リハビリテーション, 4, 28-32, 1992
- 7) 小林謙一, シルバー人材センター会員の生活・意識状況 - 武蔵村山市のケース・スタディを中心として -, 経済志林, 54(1), 1-28, 1986
- 8) 岡真人編, 高齢者期就業と生きがい: シルバー人材センター新規加入者アンケート調査最終報告書, 横浜市立大学経済研究所, 5-41, 1998
- 9) 杉澤秀博, シルバー人材センター事業に関する評価研究 (特集: 老年学 テーマ: 生涯現役をささえるために), 桜美林シナジー, (4), 15-36, 2005
- 10) 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会, 平成 25 年度シルバー人材センター事業統計年報, 2013
- 11) 原田謙, 杉澤秀博, 柴田博, 高齢者のシルバー人材センターの退会に関連する要因, 老年社会科学, 31(3), 32-38, 2009
- 12) 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会, ホワイトカラー層に係るシルバー人材センターの対応に関する調査研究, 2015
- 13) 岩田正美, 山口春子, シルバー人材センターにみる「生きがい就労」の理想と現実, 季刊社会保障研究, 24(4), 424-439, 1989
- 14) 瀧敦弘, 野崎裕子, 高齢者就業の現状と問題点 - 広島シルバー人材センターのアンケート調査より -, 地域経済研究, 19, 77 - 85, 2008
- 15) 生涯現役社会の実現に向けた雇用・就業環境の整備に関する検討会, 生涯現役社会の実現に向けた雇用・就業環境の整備に関する報告書, 2015
- 16) 厚生労働省, 「ハローワークインターネットサービス - 厚生労働省編職業分類」
(https://www.hellowork.go.jp/info/mhlw_job_dictionary.html) (2015/12/22 アクセス)
- 17) 石橋智昭, 生きがい就業を支えるシルバー人材センターのシステム, 老年社会科学, 37(1), 17-21, 2015
- 18) 福島さやか, 高齢者の就労に対する意欲分析, 日本労働研究雑誌, 558 号, 19-31, 2007
- 19) 法政大学大原社会問題研究所編, 第四章 高齢者の再就職とシルバー人材センター, 日本労働年鑑第 67 集(1997 年版), 労働旬報社, 1997
- 20) 針金まゆみ, 石橋智昭, 岡真人ほか, 都市部シルバー人材センターにおける就業実態—性・年齢階級による検討—, 老年社会科学, 31(1), 32-38, 2009